

保証書

このたびは警報器をお取り付けいただき、誠にありがとうございます。お取り付けいただきました商品につきまして、本保証書記載の内容により保証させていただきます。

商品名 品名	複合型都市ガス警報器 CA-W5	火災(熱式)・都市ガス警報器 CF-W7	火災(煙式)・都市ガス警報器 CF-W8
-----------	---------------------	-------------------------	-------------------------

1. お客さま名

おなまえ	さま	お取り付け年月	年	月
おところ				

2. 販売店

店名		TEL	
住所			

3. 有効期限

警報器本体の有効期限はお取り付け後5年間で、有効期限後の性能保証および、点検・取り替えはできません。有効期限後はぜひ新しいものとお取り替えください。

(有効期限は、機器本体ラベルに記載しておりますので、ご確認ください。ラベルの有効期限表示は西暦と月で記入されています。この有効期限までが保証期間になります。)

無償点検等の実施

①取扱説明書に基づいた使用状態で誤作動等により故障した場合、
異常が認められた場合には、お申し出により無償点検いたします。
②取扱説明書に基づかない使用で生じた故障等。
③火災・天災・異常電圧・異常温度等の不可抗力による故障等。
④本製品のお買上げ販売店もしくは当社が指定した取付業者以外で取付けられた場合の故障等。

なお、無償点検・無償取替えをご希望される際、お買上げの販売店もしくは最寄りの当社営業所へご連絡ください。

保証の適用除外

本製品は、保証期間内であっても、つぎの場合、点検または取替えは有料となります。

- ①本製品に異常が認められない場合。
- ②取扱説明書に基づかない使用で生じた故障等。
- ③火災・天災・異常電圧・異常温度等の不可抗力による故障等。
- ④本製品のお買上げ販売店もしくは当社が指定した取付業者以外で取付けられた場合の故障等。
- ⑤当社の供給するガス以外に使用した場合の故障等。
- ⑥取付位置の移動、落下、衝撃等による故障等。
- ⑦お買上げ後に分解、改造等が行われた場合の故障等。
- ⑧本証書のご提示がない場合。

〈ご注意〉

本証書によって、お客さまの民法上の権利を制限するものではありません。

本証書の“お取り付け年月”“販売店”欄に記入のないものは無効です。必ずご確認ください。

※お客さまにご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。ご了承ください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証履行者 東邦ガス株式会社
〒456-8511
名古屋市熱田区桜田町19番18号
保証責任者 新コスモス電機株式会社
〒532-0036
大阪市淀川区三津屋中2-5-4

空気より軽い12A、13Aガス用

取扱説明書

保証書付

このたびは、ガス警報器をお取り付けいただき、ありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

なお、万一本書を紛失されたときは、販売店または最寄りの東邦ガス営業所にお問い合わせください。

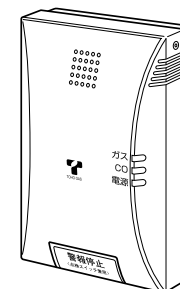
家庭用・業務用兼用

複合型都市ガス警報器

不完全燃焼警報機能付

品名 **CA-W5** 型式名 **XW-105G**

(財)日本ガス機器検査協会検査合格品



家庭用

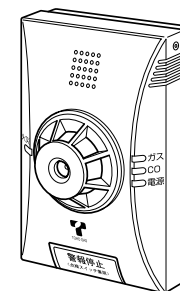
火災(熱式)・都市ガス警報器

不完全燃焼警報機能付

品名 **CF-W7** 型式名 **XW-105GK**

(財)日本ガス機器検査協会検査合格品

日本消防検定協会鑑定合格品



家庭用

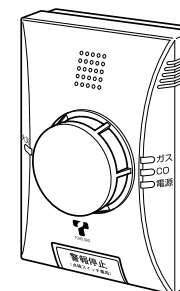
火災(煙式)・都市ガス警報器

不完全燃焼警報機能付

品名 **CF-W8** 型式名 **XW-105S**

(財)日本ガス機器検査協会検査合格品

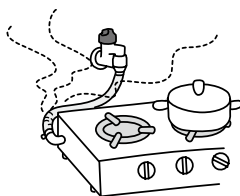
日本消防検定協会鑑定合格品



警報器の機能について

■ ガスもれ警報機能・不完全燃焼警報機能

警報器周囲の都市ガスや一酸化炭素(CO)が規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。



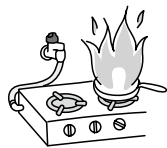
《お断わり》

- ガス検知部に都市ガスや一酸化炭素が到達しないときは、警報機能が動きません。
- ガスもれや不完全燃焼の発生を未然に防止する装置ではありません。
ガスもれや不完全燃焼などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取付場所近くでのガスもれや一酸化炭素には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスもれや一酸化炭素には警報を発しないことがあります。

■ 火災警報機能

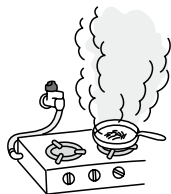
CF-W7

火災などにより、警報器周囲の温度が規定温度(約65℃)以上になると、それを感知して警報を発します。



CF-W8

火災などにより、警報器周囲の煙が一定濃度以上になると、それを感知して警報を発します。



《お断わり》

CF-W7

- 換気扇などにより熱気が吸引され、熱感知部の温度が上昇しないときは、警報機能が動きません。

CF-W8

- 換気扇などにより煙が吸引され、煙感知部の煙が一定濃度以上にならないときは、警報機能が動きません。

CF-W7 CF-W8

- 火災の発生を未然に防止する装置ではありません。
火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 警報器を取り付けていない部屋は、火災の監視ができません。

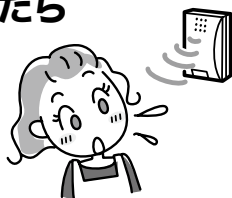
もくじ

はじめに



安全上のご注意	3
各部のなまえとはたらき	6
警報器のお知らせ機能について	9

警報器が 作動したら



1 『ウーウーカンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください』 と鳴ったときの処置のしかた [CF-W7] [CF-W8]	12
2 赤ランプが点滅しているときの処置のしかた	14
3 黄ランプが点滅しているときの処置のしかた	14
4 『ウーウーピーピーピーピー ガスがもれていませんか』 と鳴ったときの処置のしかた	15
5 『ウーウーピーポッポッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』 と鳴ったときの処置のしかた	17
6 『ウーウーピーピーピーピー ガスがもれていませんか』と 『ウーウーピーポッポッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』 が交互に鳴ったときの処置のしかた	19
7 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた	21

取り扱い かた



お手入れのしかた	23
警報器の取り外し・取り付けかた	24
定期点検	26
噴霧式殺虫剤を使用するときは	27

困った ときは



故障かな?と思ったら	31
仕様	32
アフターサービスについて	33

取付位置の確認	33
---------	----



安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠ 危険 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。

⚠ 警告 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠ 注意 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

「一般的な禁止」事項を示しています。

「火気厳禁」事項を示しています。

「分解禁止」事項を示しています。

「接触禁止」事項を示しています。

「ぬれ手禁止」事項を示しています。

「水ぬれ禁止」事項を示しています。

「必ず行う」事項を示しています。

⚠ 危険

ガスもれの警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。

爆発の恐れがあります。

マッチやライターなど、火気を使わない。

火気厳禁



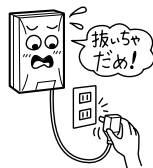
換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。

禁止



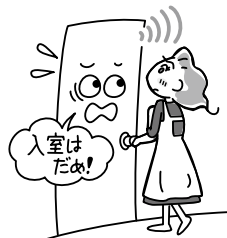
電源プラグを抜かない。

禁止



部屋の外から、すぐに入室しない。

禁止



不完全燃焼の警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

一酸化炭素濃度が上昇し、短時間で生命に危険な状態になる恐れがあります。

警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止める。

必ず行う



部屋の外にいるときは、すぐに入室しない。

禁止



火災の警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難してください。

必ず行う



⚠ 警告

分解や改造はしないでください。故障の原因となります。

分解禁止

衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

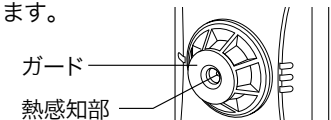
禁止



接触禁止

[CF-W7]
ガードの中にある熱感知部には触らないでください。

火災を感じしなくなる恐れがあります。



常に通電されていること（緑ランプ点灯）を確認してください。火災、ガスもれ、不完全燃焼が発生しても、警報を発しません。

必ず行う

警報器をお手入れするとき以外は、電源プラグを抜かないでください。火災、ガスもれ、不完全燃焼が発生しても、警報を発しません。警報器以外の電気製品を同時に使用するときは、警報器の電源プラグに付属の予備コンセントを使用してください。

禁止

噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。（P.27 ~ P.30参照）

必ず行う

- 警報器をポリ袋などで覆う。
- 噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。

誤作動の原因となります。

電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。

必ず行う

警報器の電源プラグ・予備コンセントに接続する他の電気製品の電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。感電・ショート・発煙・発火や、電源プラグ部分の過熱による焼損の恐れがあります。

必ず行う



⚠ 警告

- 禁止** 電源コードにステップルや釘などを打たないでください。
火災の原因となります。

⚠ 注意

- 禁止** 取付位置を移動させないでください。
警報の遅れの原因となります。
取付位置を変える必要が生じたときは、販売店または最寄りの東邦ガス営業所にご相談ください。

- 禁止** 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。
警報の遅れの原因となります。

- ぬれ手禁止** ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、予備コンセントを触ったりしないでください。
感電する恐れがあります。

- 必ず行う** 設置後、5年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。
正常に作動しない恐れがあります。
有効期限は、貼ってある有効期限ラベルに示しています。

- 禁止** 警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。
ラジオなどにノイズ(雑音)が入ることがあります。
警報器から距離を離してお使いください。

- 禁止** 引きひもを引っ張るときは、強く引っ張らないでください。
ひも切れや警報器が落下してけがをする恐れがあります。

- 必ず行う** 警報器をお手入れするときは、必ず警報器の電源プラグを抜いてください。
感電やけがの原因となります。

- 必ず行う** 警報器の取り外し・取り付けを行うときや、警報器をポリ袋で覆うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。
転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。

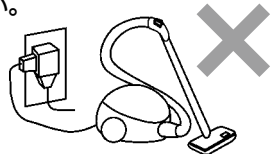
- 水ぬれ禁止** 警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。
ショートや感電の恐れがあります。

- 電源プラグに付属の予備コンセントを使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。
火災・感電・電源プラグ破損の恐れがあります。

- 必ず行う** 消費電力が1490W以下の機器を接続する。

- 必ず行う** 接続する他の電気製品は、必ず電源スイッチを切ってから電源プラグの抜き差しを行う。

- 禁止** 警報器の電源プラグに大きな力をかけない。



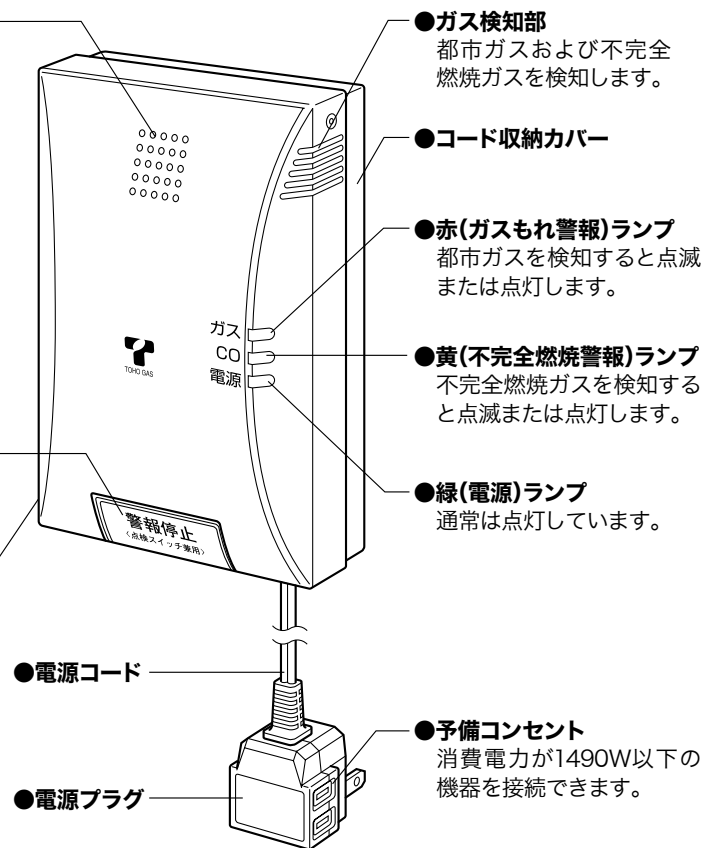
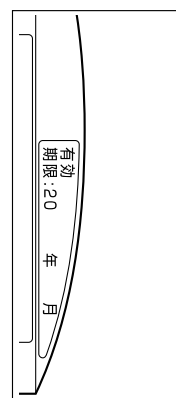
〈CA-W5〉

- 警報スピーカー**
都市ガス、不完全燃焼ガスを検知すると、音声合成音*が鳴ります。

*音声合成音は、音声設定とブザー設定の選択ができます。初期設定は音声になっていますので、ブザー設定を希望される場合は、東邦ガス販売員にお申し付けください。

- 警報停止スイッチ**

- 有効期限ラベル**





各部のなまえとはたらき

〈CF-W7〉

●警報スピーカー

都市ガス、不完全燃焼ガスを検知、または火災による熱を感知すると、音声合成音*が鳴ります。

*音声合成音は、音声設定とブザー設定の選択ができます。初期設定は音声になっていますので、ブザー設定を希望される場合は、東邦ガス販売員にお申し付けください。

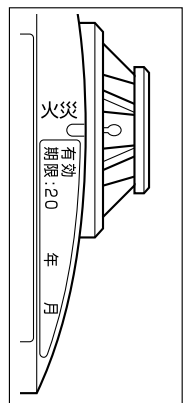
●赤(火災警報)ランプ

火災による熱を感知すると点灯します。

●熱感知部

熱を感知します。

●有効期限ラベル



●ガス検知部

都市ガスおよび不完全燃焼ガスを検知します。

●コード収納カバー

●赤(ガスもれ警報)ランプ

都市ガスを検知すると点滅または点灯します。

●黄(不完全燃焼警報)ランプ

不完全燃焼ガスを検知すると点滅または点灯します。

●緑(電源)ランプ

通常は点灯しています。

●ガード

●警報停止スイッチ

●電源コード

●電源プラグ

●予備コンセント

消費電力が1490W以下の機器を接続できます。

〈CF-W8〉

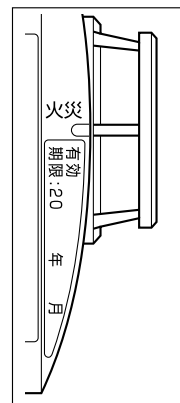
●警報スピーカー

都市ガス、不完全燃焼ガスを検知、または火災による煙を感知すると、音声合成音が鳴ります。

●赤(火災警報)ランプ

火災による煙を感知すると点灯します。

●有効期限ラベル



●ガス検知部

都市ガスおよび不完全燃焼ガスを検知します。

●コード収納カバー

●赤(ガスもれ警報)ランプ

都市ガスを検知すると点滅または点灯します。

●黄(不完全燃焼警報)ランプ

不完全燃焼ガスを検知すると点滅または点灯します。

●緑(電源)ランプ

通常は点灯しています。

●煙感知部

煙を感知します。

●警報停止スイッチ

●電源コード

●電源プラグ

●予備コンセント

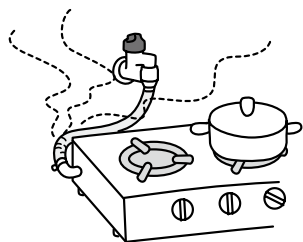
消費電力が1490W以下の機器を接続できます。



警報器のお知らせ機能について

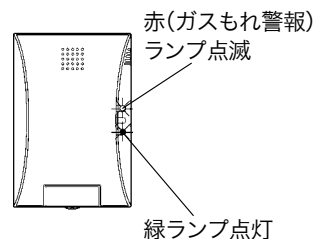
都市ガスがもれたときは

警報器周囲の都市ガスが規定濃度以上になると作動します。低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。



注意報

P.14参照

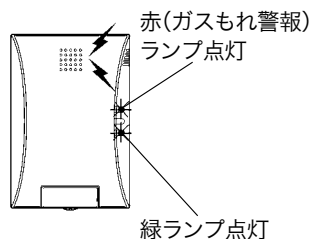


警報

P.15～P.16参照

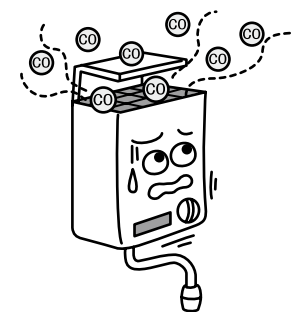
ウーウービッピッピッピッ
ガスがもれていませんか

ブザー設定*: ウーウービッピッピッピッ



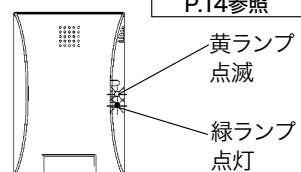
ガス機器の不完全燃焼が発生したときは

警報器周囲の一酸化炭素(CO)が規定濃度以上になると作動します。低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。



注意報

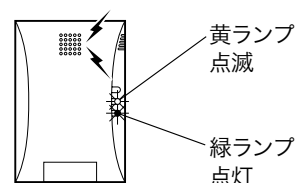
P.14参照



約8分後

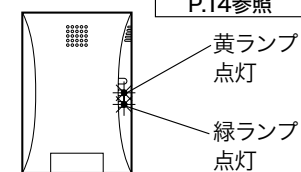
ウーウービッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

ブザー設定*: ウーウービッポッピッポッ



警報

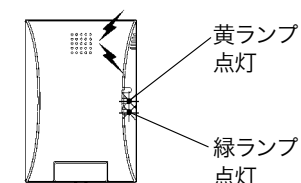
P.14参照



約3分後

ウーウービッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

ブザー設定*: ウーウービッポッピッポッ



都市ガスのもれとガス機器の不完全燃焼が同時に発生したときは

P.19～P.20参照

警報器周囲の都市ガスと一酸化炭素(CO)が規定濃度以上になると作動します。

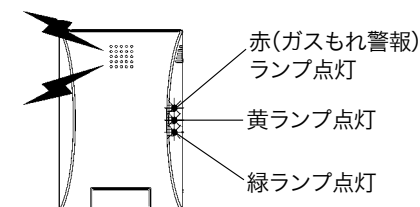
ウーウービッピッピッピッ
ガスがもれていませんか

ブザー設定*: ウーウービッピッピッピッ

ウーウービッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

ブザー設定*: ウーウービッポッピッポッ

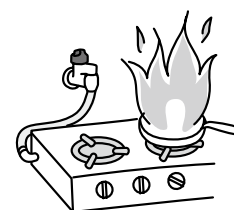
交互に鳴る



CF-W7 火災による熱が発生したときは

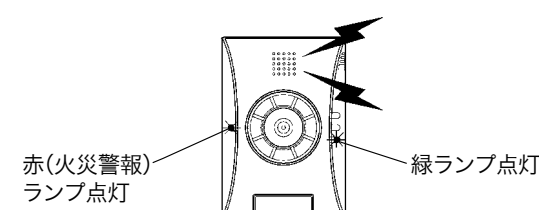
P.12～P.13参照

警報器周囲の温度が規定温度(約65℃)以上になると作動します。



ウーウーカンカンカン
火災警報器が作動しました
確認してください

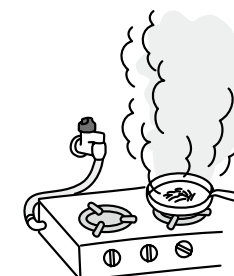
ブザー設定*: ウーウーカンカンカン



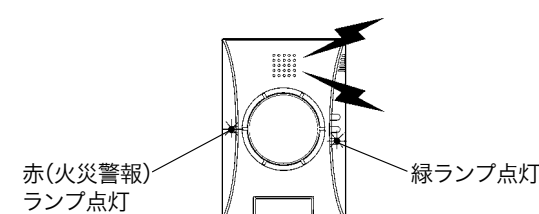
CF-W8 火災による煙が発生したときは

P.12～P.13参照

警報器周囲の煙が一定濃度以上になると作動します。



ウーウーカンカンカン
火災警報器が作動しました
確認してください



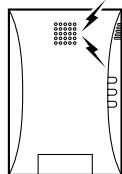


警報器のお知らせ機能について

有効期限が過ぎたときは

有効期限を半年以上過ぎると緑ランプがゆっくり点滅し、警報停止スイッチを押すと、「取り付け後、5年経過しています」が鳴ります。
販売店までご連絡ください。

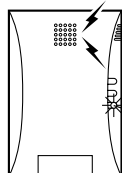
取り付け後、5年経過
しています



故障しているときは

故障していると緑ランプが高速点滅し、警報停止スイッチを押すと、「故障などが発生しています 販売店に連絡してください」が鳴ります。
※販売店までご連絡ください。

故障などが発生しています
販売店に連絡してください



緑ランプ
高速点滅



『ウーウーカンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください』 CF-W7 CF-W8

ブザー設定*: ウーウーカンカンカン

と鳴ったときの処置のしかた

【赤(火災警報)ランプが点灯】

⚠ 危険

警報音が鳴り、
消火が不可能なときは、
避難する。



必ず行う



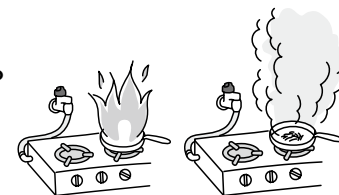
《お断わり》

火災警報を発しているときは、火災警報の音声優先され、ガスもれおよび不完全燃焼警報は発しません。

《火災以外の熱などで 火災警報を発しているとき》

P21の処置をしてください。

1 火元の 確認をする。

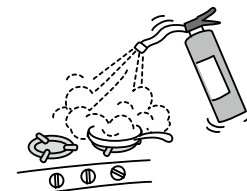


2 消火手段をとる。

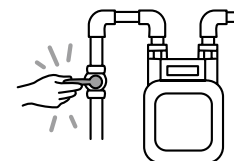
119番への通報



初期消火



天ぷら油から炎が出ていたときは、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。



CF-W7

警報器周囲の温度が規定温度(約65℃)以下になると、警報音が鳴りやみ、赤(火災警報)ランプが消灯します。

CF-W8

警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、赤(火災警報)ランプが消灯します。

〈相互連動機能について〉 CF-W7 CF-W8

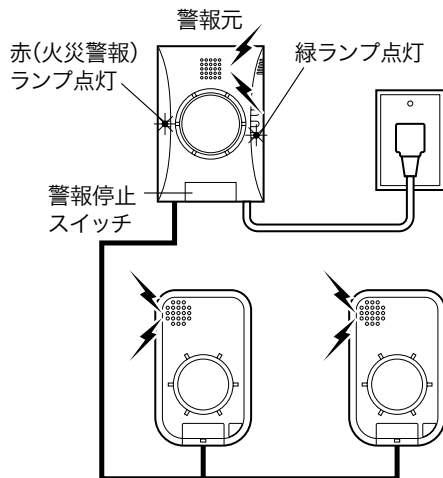
- 本警報器が火災警報を発したとき、連動接続された他の火災警報器も警報音を発します。

本警報器の警報停止スイッチを押すと、警報音は鳴りやみます。同時に、連動接続された火災警報器の警報音も鳴りやみます。

※警報元の警報器周囲の煙が一定濃度以下になっていない場合は、5分後に再び火災警報を発します。

ウーウーカンカン
火災警報器が作動しました
確認してください

ブザー設定*: ウーウーカンカン



- 連動接続された他の火災警報器が火災警報を発したとき、本警報器では赤(火災警報)ランプが点滅し、警報音が鳴ります。

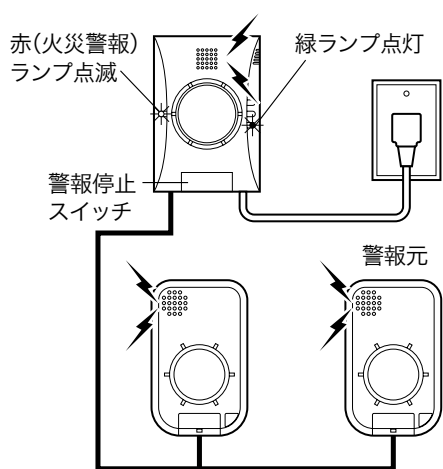
本警報器の警報停止スイッチを押すと、警報音は鳴りやみます。

また、警報元の警報音声停止機能のボタンを押すと、本警報器の警報音は鳴りやみ、赤(火災警報)ランプは消灯します。

※本警報器は、5分後に警報元が警報し続けている場合、再び火災警報を発します。

ウーウー
別の火災警報器が作動しました
確認してください

ブザー設定*: ウーウー



おねがい

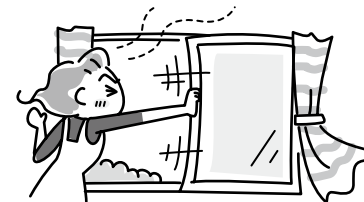
連動接続された他の火災警報器は、機種により連動時の動作は異なります。必ず、接続する火災警報器の取扱説明書をお読みください。



2 赤(ガスもれ警報)ランプが点滅しているときの処置のしかた

1 ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気を続けると、ランプは消灯します。



2 原因を確認する。

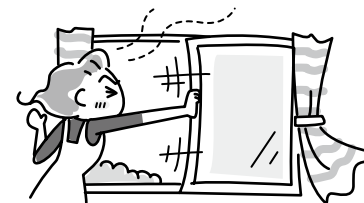
もれた都市ガス濃度がうすい場合に点滅します。室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P.22参照)



3 黄(不完全燃焼警報)ランプが点滅しているときの処置のしかた

1 ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気を続けると、ランプは消灯します。



2 原因を確認する。

一酸化炭素(CO)濃度がうすい場合に点滅します。室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P.22参照)



4『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』

ブザー設定*: ウーウーピッピッピッピッ

と鳴ったときの処置のしかた

【赤(ガスもれ警報)ランプが点灯】

警報音が鳴っている部屋にいるときは

⚠ 危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。爆発の恐れがあります。

マッチやライターなど、火気を使わない。



火気厳禁



換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。



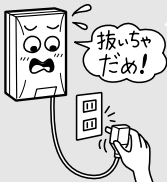
禁止



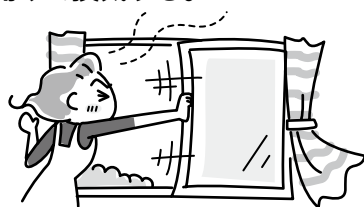
電源プラグを抜かない。



禁止



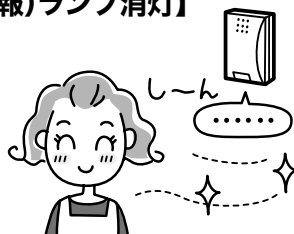
1 ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス栓や器具栓を閉める。



3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。 【赤(ガスもれ警報)ランプ消灯】



4 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



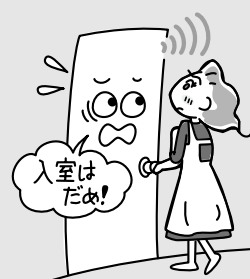
部屋の外から警報音に気づいたときは

⚠ 危険

警報音が鳴っている間は、**部屋の外から、すぐに入室しない。**爆発の恐れがあります。



禁止

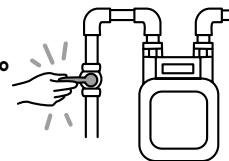


1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。



2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。



3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、赤(ガスもれ警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



6 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。

最寄りの東邦ガスへ連絡する。

東邦ガス





5『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』

ブザー設定*: ウーウーピッポッピッポッ

と鳴ったときの処置のしかた

【黄(不完全燃焼警報)ランプが点滅または点灯】

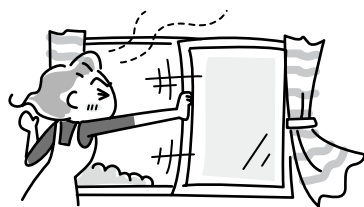
警報音が鳴っている部屋にいるときは

⚠ 危険

警報音が鳴ったら、
すぐに換気し、
使用中のガス機器を
止める。

一酸化炭素(CO)濃度が上昇
し、短時間で生命に危険をおよ
ぼす恐れがあります。

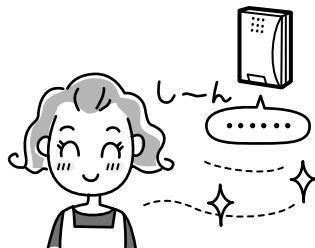
1 ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス機器の使用を中止し、 ガス栓や器具栓を閉める。



3 一酸化炭素(CO)がなくなれば、 警報音が鳴りやむ。 【黄(不完全燃焼警報)ランプ消灯】

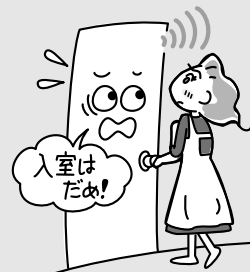


部屋の外から警報音に気づいたときは

⚠ 危険

警報音が鳴っている間は、
**部屋の外から、
すぐに入室しない。**

一酸化炭素(CO)濃度が濃く
なっていることがあり、短時間
で生命に危険をおよぼす恐れ
があります。

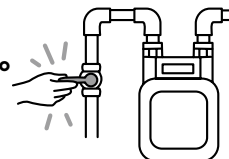


1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開け
られるときは、ドアや窓
を開けて換気する。



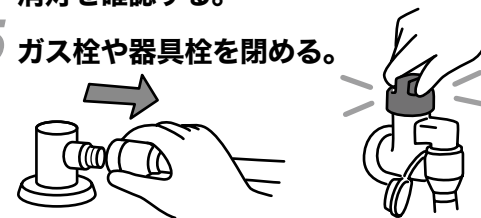
2 ガスメーター近くの メーターガス栓を閉める。



3 一酸化炭素(CO)がなくなれば、 警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、黄(不完全燃焼警報)ランプの 消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

最寄りの東邦ガスへ連絡する。

東邦ガス



おねがい

- たびたび警報音が鳴るとき
は、ガス機器の点検を受けて
ください。
- ガス機器以外の燃焼機器(石油
ファンヒーター、石油ストーブ
など)が原因で鳴ることもあ
りますので、これらの機器につ
いても点検を受けてください。



6『ウーウーピッピッピッピッガスがもれ』『ウーウーピッポッピッポッ空気が汚れ』

ブザー設定*: ウーウーピッピッピッピッ と ウーウーピッポッピッポッ

が交互に鳴ったときの処置のしかた

【赤(ガスもれ警報)ランプと黄(不完全燃焼警報)ランプが点滅または点灯】

警報音が鳴っている部屋にいるときは

△危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。爆発や一酸化炭素中毒の恐れがあります。

マッチやライターなど、火気を使わない。



火気厳禁

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。



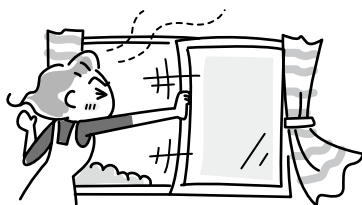
禁止

電源プラグを抜かない。



禁止

1 ドアや窓を開けて換気する。

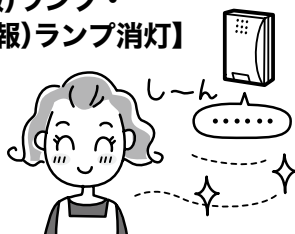


2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。



3 ガスや一酸化炭素がなくなれば、警報音が鳴りやむ。

【赤(ガスもれ警報)ランプ・黄(不完全燃焼警報)ランプ消灯】



4 ガスもれや不完全燃焼ガスの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



ていませんか』と
て危険です 窓を開けて換気してください』

部屋の外から警報音に気づいたときは

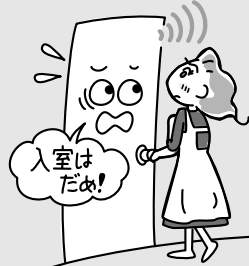
△危険

警報音が鳴っている間は、**部屋の外から、すぐに入室しない。**

爆発や一酸化炭素中毒の恐れがあります。



禁止



1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。



2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。



3 ガスや一酸化炭素がなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、赤(ガスもれ警報)ランプ・黄(不完全燃焼警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



6 ガスもれや不完全燃焼ガスの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。
- ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

最寄りの東邦ガスへ連絡する。

東邦ガス





7 異常がないのに 警報音が鳴ったり、 ランプが点滅した ときの処置のしかた

ガスもれや不完全燃焼ガス以外の空気の汚れで、
赤（ガスもれ警報）ランプや黄（不完全燃焼警報）ランプが
点滅したり、警報音が鳴ったときは

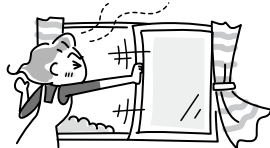
〈警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押すと、
●ガスもれの警報音のみ1回だけ
止められる。

●CO警報は注意報の警報音のみ
1回だけ止められる。

※警報元の警報器周囲の都市ガスと
一酸化炭素(CO)が一定濃度以下に
なっていない場合、5分後に再び警
報を発します。

1 ドアや窓を開け、
しばらく換気を
続ける。



2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、
ランプの点滅や警報音が止まる。

火災以外の熱で火災警報音が鳴ったときは CF-W7

〈火災警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押してください。
引きひもがあるとき(P.25参照)は、
引きひもを引っ張ってください。
警報音が止まります。

※警報元の警報器周囲の熱が規定温
度(約65℃)以下になっていない場
合は、5分後に再び火災警報を発し
ます。

1 ドアや窓を開け、
しばらく換気を
続ける。



2 警報器周囲の温度が規定温度(約65℃)
以下になると、警報音が鳴りやむ。

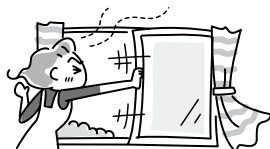
火災以外の煙で火災警報音が鳴ったときは CF-W8

〈火災警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押してください。
引きひもがあるとき(P.25参照)は、
引きひもを引っ張ってください。
警報音が止まります。

※警報元の警報器周囲の煙が一定濃度
以下になっていない場合は、5分後に
再び火災警報を発します。

1 ドアや窓を開け、
しばらく換気を
続ける。



2 警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、
警報音が鳴りやむ。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、
調べてください。

〈ガスもれ・不完全燃焼警報〉

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にか
けていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 芳香剤などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませ
んか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度
になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用し
ていませんか。
- 長時間、部屋を閉め切っていませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器
に大量にかかっていませんか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ
以外で使用していませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 長い間閉め切っている部屋に設置していませんか。建
材などから発生する成分の作用によって、警報音が鳴
りやすくなることがあります。

CA-W5

- 換気扇を回さずに大鍋(業務用)で湯を沸かしていま
せんか。点火初期時に一酸化炭素が発生し、不完全燃
焼警報を発することがあります。

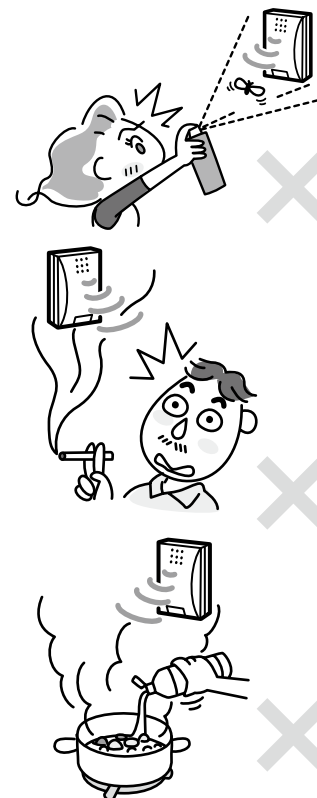
〈火災警報〉

CF-W7

- 調理中の熱がこもっていませんか。
- エアコンなどの空調機器の熱が直接警報器に当たっ
ていませんか。

CF-W8

- 湯気が直接かかっていませんか。



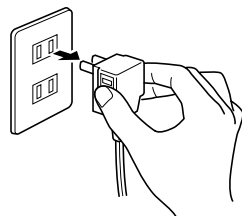


お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜く。

《お断わり》

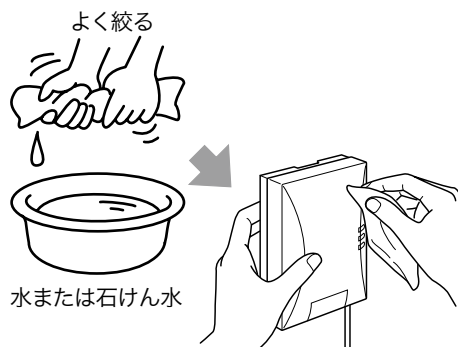
外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報音（故障表示）が鳴ることがあります。



2 警報器を取り外す。 (P.24参照)

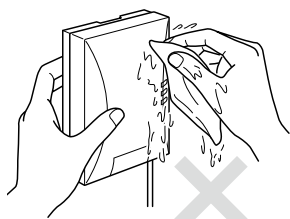
3 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取る。

- 警報器表面・壁面
布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからふき取ってください。
- 電源プラグ
乾いた布でふき取ってください。



おねがい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。



- お手入れするときは、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。

アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤（ガスもれ警報）ランプが点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。



4 警報器を取り付ける。 (P.25参照)

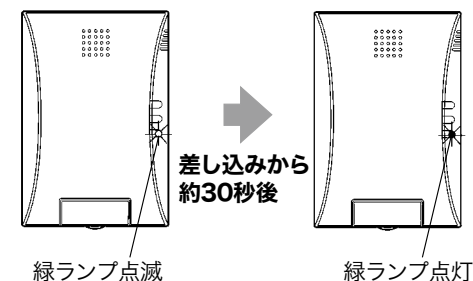
5 電源プラグをコンセントに差し込む。

- ①警報器の電源が入ります。
緑（電源）ランプが点滅します。
※赤（ガスもれ警報）ランプが点滅していることがありますが、しばらくすると消灯します。

- ②約30秒後、緑（電源）ランプが点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。

電源プラグを差し込む

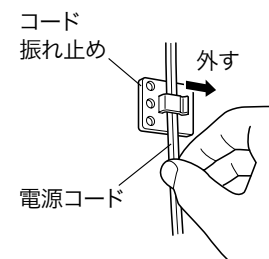
【監視状態】



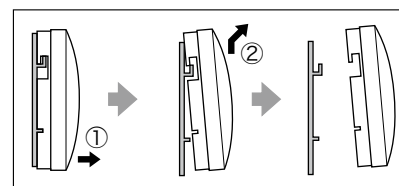
警報器の取り外し・取り付けかた

《取り外しかた》

1 電源コードをコード振れ止めから取り外す。



2 警報器を取付板から取り外す。

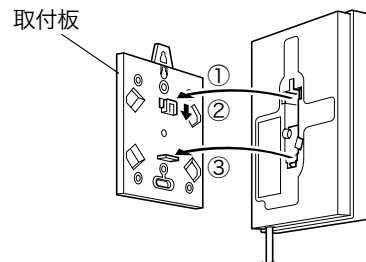
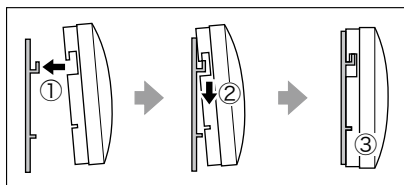




警報器の取り外し・取り付けかた

〈取り付けかた〉

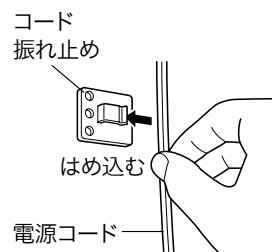
1 警報器を取付板に取り付ける。



2 電源コードをコード振れ止めに取り付ける。

〈確認〉

警報器が確実に固定されていることを確認してください。

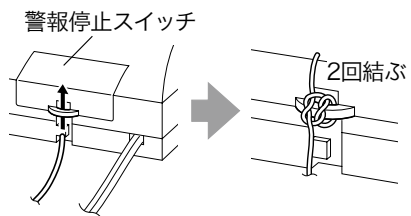


〈引きひもの取り付け〉

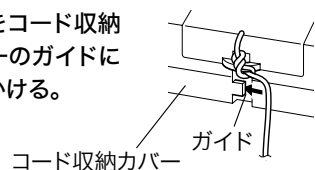
警報器に引きひもを取り付け、警報停止スイッチを作動させることができます。

※ひも・つまみは市販品をご用意ください。

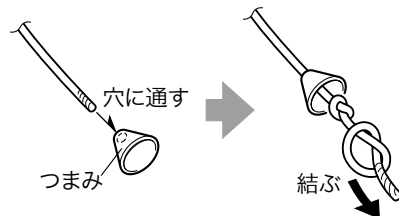
① ひもを警報停止スイッチの穴に通し、2回結ぶ。



② ひもをコード収納カバーのガイドに引っかける。



③ ひもを適当な長さで切り、先端につまみを取り付ける。



④ ひもを引き、スイッチの作動を確認する。



定期点検

重要

定期点検は警報器の維持管理上必要な要件です。正常に作動することを確認するために、必ず実施してください。

〈警報機能の点検〉

⚠ 警告

- 点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。
警報器の破損や火災の原因になります。
- 点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。
転倒してけがをするおそれがあります。

警報器は定期的に（1ヶ月に1度）以下の手順で警報停止スイッチを押して、正常に作動するか点検してください。（以下の点検は、電源投入後25分経過後の場合です。25分以内の点検は、「取付説明書」を参照してください。）

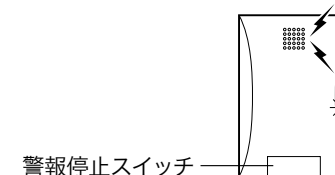
〈点検のしかた〉

- ①警報停止スイッチを約1秒間押すと「ピッ」と開始音が鳴り、緑ランプが点滅します。
- ②以下のように作動することを確認してください。

※ CF-W7 CF-W8のみ

音声内容	ランプ			
	緑	黄	赤 (ガスもれ 警報)	赤※ (火災 警報)
「正常です」	点灯	点灯	点灯	点灯

- 過去約10日以内に警報が作動した場合のみ「警報がありました」の音声と最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約3秒間点灯します。（鳴動原因表示機能によるものです。）
（電源投入後約25分間は、この機能がはたらきません。）
- ③「ピー」と終了音が鳴り、監視状態（緑ランプ点灯）に戻ります。





定期点検

〈他の火災警報器との連動点検〉 CF-W7 CF-W8

相互連動機能を使用している場合は、定期的に（6ヶ月に1度）連動が正常に作動するか点検してください。（以下の点検は、電源投入後25分経過後の場合です。25分以内の点検は、「取付説明書」を参照してください。）

〈点検のしかた〉

- ① 警報停止スイッチを押すと「ピッ」と鳴り（緑ランプが点滅を開始）、そのまま3秒間押し続けてください。「ピッピッ」と開始音が鳴り、火災連動出力が出力されます。
- ② 以下のように作動することを確認してください。

音声内容	ランプ				火災連動出力
	緑	黄	赤 (ガスもれ 警報)	赤 (火災 警報)	
「ウーウーカンカン」火災警報器が作動しました 確認してください	点滅	消灯	消灯	点灯	ON

- 有電圧出力は、電源投入後25分以内の点検では出力されず。



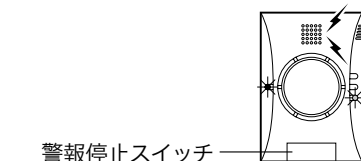
噴霧式殺虫剤を使用するときは

⚠ 警告

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。
警報器が作動しません。

電源プラグを抜かないでください。

電源プラグを抜き、警報器をポリ袋で覆わずに噴霧式殺虫剤を使用すると、噴霧後に再び電源プラグを差し込んだときに警報音が鳴ることがあります。また、外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報音（故障表示）が鳴ることがあります。



警報停止スイッチ

- ③ 1分後に「ピー」と終了音が鳴り、赤（火災警報）ランプが消灯し、監視状態（緑ランプ点灯）に戻ります。
※ 1分以内に点検を終了したい場合は、警報停止スイッチを約1秒間押すと、「ピー」と鳴り、終了します。

⚠ 注意

ポリ袋の取り付け・取り外しや警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台を使って、十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。



噴霧式殺虫剤を使用するときは

1. 警報器をポリ袋で覆う

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に以下の処置をしてください。

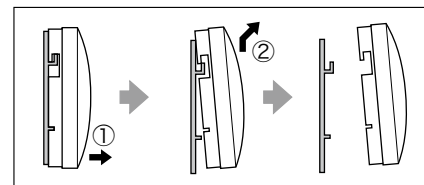
警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けるとき

〈準備するもの〉

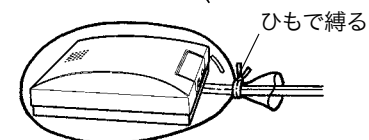
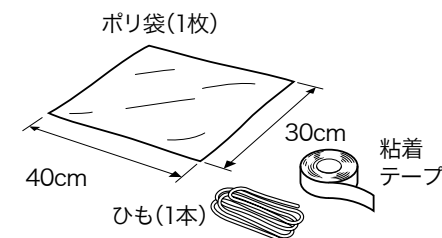
- ポリ袋（30cm×40cm・1枚）
ポリプロピレン製（または>PP<表示）
※ ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- ひも（1本）
- 粘着テープ

〈処置のしかた〉

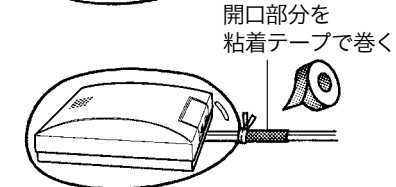
- ① 警報器を取り外してください。（P.24参照）



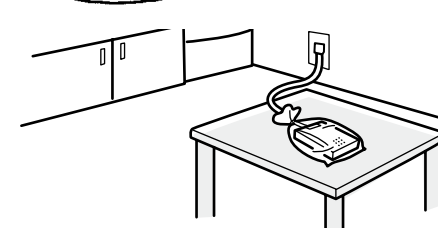
- ② 警報器にポリ袋を被せ、袋の口を電源コードの上からひもで縛ってください。



- ③ ポリ袋と電源コードの間に隙間ができないように、ポリ袋の開口部分に粘着テープを巻き付けてください。



- ④ ポリ袋を傷めないように、警報器を安定するところに置いてください。





噴霧式殺虫剤を使用するときは

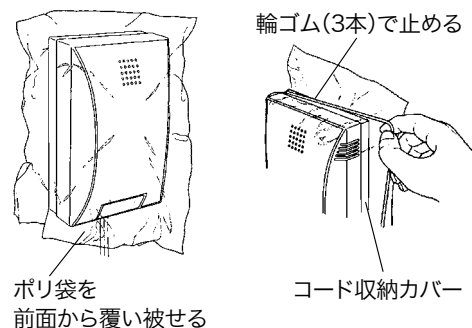
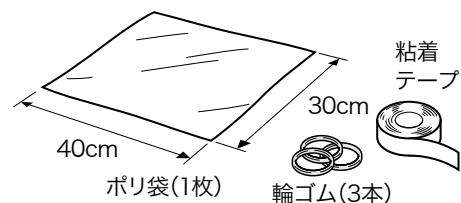
警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けないとき

〈準備するもの〉

- ポリ袋(30cm×40cm・1枚)
ポリプロピレン製(PPまたは>PP<表示)
※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- 輪ゴム(3本)
- 粘着テープ
養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、またはがすときに壁面を傷めないテープを選んでください。

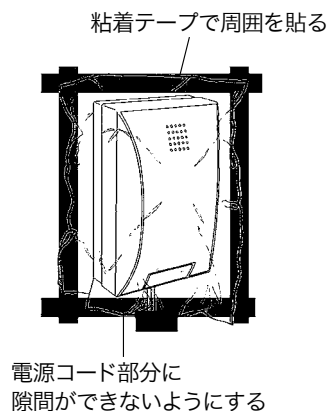
〈処置のしかた〉

- ①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、コード収納カバー部分を輪ゴム(3本)でしっかり止めてください。



- ②ポリ袋の端を粘着テープで壁面に貼り付けてください。
ポリ袋と壁面の間に隙間ができないように、粘着テープを貼ってください。
特に、ポリ袋がしわになっている部分や電源コードが通っている部分に注意してください。

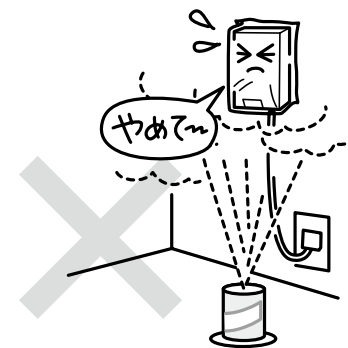
※壁面などの状況により、粘着テープでの貼り付けができない場合、①のみの処置でも一定の効果はあります。



2.噴霧式殺虫剤を噴霧する

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。
噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

- 部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。
必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
- 噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。
警報器の真下は避けてください。
- ポリ袋と壁面の間に隙間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。
- 警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。
ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
- 経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。

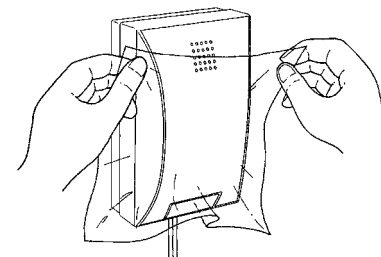


3.ポリ袋を取り外す

噴霧が終わったら、ポリ袋を外してください。

おねがい

粘着テープを外すときは、壁面などを傷めないように慎重に行ってください。





故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
緑（電源）ランプが 消灯している。	▶ 電源プラグが抜けてい ませんか。	▶ 電源プラグをコンセントに差し込 んでください。
	▶ 電源ブレーカーが切れ ていませんか。	▶ ブレーカーを入れてください。
	▶ 停電していませんか。	▶ 停電でなければ、警報器の故障 が考えられますので、販売店に 連絡してください。
警報器が 温かくなっている。	▶ —	▶ 通電により、センサ部を加熱し ています。異常ではありません。
緑（電源）ランプが 高速点滅している。	▶ 警報器の故障を知ら せています。警報停止ス イッチを押してくださ い。	▶ 「故障などが発生しています 販売店に連絡してください」と 鳴りますので、販売店に連絡し てください。（機器故障音声機能）
緑（電源）ランプが ゆっくり点滅している。	▶ 警報器の有効期限切れ を知らせています。警 報停止スイッチを押し てください。	▶ 「取り付け後 5年経過してい ます」と鳴りますので、新しい 警報器に交換（有償）してくだ さい。（有効期限切れ音声機能）
たびたび警報音が鳴る。	▶ ガス機器の異常が考え られます。	▶ ガス機器の点検を受けてくださ い。
	▶ ガス機器以外の燃焼機器 の異常が考えられます。	▶ それらの機器も点検を受けてく ださい。
火災、ガスもれ、不完全 燃焼ではないのに、赤ラ ンプや黄ランプが点滅し たり、警報音が鳴る。	▶ 原因を調べてください。 （P.22 参照）	▶ ドアや窓を開け、しばらく換気 を続けてください。ランプの点 滅や警報音が止まります。



仕様

項 目	仕 様	該当品名
火災警報機能	種 別 定温式住宅用火災警報器・ガス漏れ警報器	CF-W7
	鑑 定 型 式 番 号 鑑住第 17 ～ 19 号	
	検 知 原 理 熱感知サーミスタ式	
	公 称 作 動 温 度 65℃	CF-W8
	種 別 光電式住宅用火災警報器・ガス漏れ警報器	
	鑑 定 型 式 番 号 鑑住第 19 ～ 66 号	
ガスもれ・不完全燃焼警報機能	検 知 対 象 ガス 都市ガス（空気より軽い 12A・13A ガス用）	共通
	警 報 ガ ス 濃 度 低濃度 爆発下限濃度の約 1/100	
	高濃度 爆発下限濃度の 1/4 以下	
	検 知 方 式 熱線型半導体式	
	警 報 方 式 低濃度 赤ランプ点滅（自動復帰式）	
共通仕様	高濃度 赤ランプ点灯 音声合成音（自動復帰式）	共通
	音声合成音は切替スイッチにより 音声とブザーの選択が可能	
	低濃度 黄ランプ点滅 約 8 分後危険と判断し、音声合成音（自動復帰式）	
	高濃度 黄ランプ点灯 約 3 分後音声合成音（自動復帰式）	
	音声合成音は切替スイッチにより 音声とブザーの選択が可能	
共通仕様	応 答 時 間 60秒以内	共通
	* 外 部 出 力 信 号 監視時 DC6V	
	警報時 DC12V	
	電源OFF及びトラブル時 0V	
	警報時 DC18V	
共通仕様	警 報 音 量 70dB(A)/m以上	共通
	電 源 AC100V 50/60Hz	
	消 費 電 力 監視時 約1.2W	
	警報時 約2.0W	
	使 用 温 度 範 囲 0℃～+50℃（結露しないこと）	
共通仕様	0℃～+40℃（結露しないこと）	共通
	寸 法 ・ 質 量 幅85×高さ125×奥行き34mm(突起部を除く)、約275g	
	幅85×高さ125×奥行き47mm(突起部を除く)、約280g	
	幅85×高さ125×奥行き47.5mm(突起部を除く)、約295g	
	電 源 コー ド 長さ 2.5m(約2.2mはケース背面に巻取可能)	
共通仕様	予備コンセント付プラグ	共通
	（予備コンセントに接続できる電気製品は、1490W以下）	
	付 属 品 コード振れ止め×3、取付板×1、コード収納カバー×1、外部出力接続線×1	
	木ネジ(φ3.1×10mm)×3、木ネジ(φ3.1×16mm)×2、ピン(φ1×20mm)×10	
	お問い合わせ先一覧チラシ×1、リースシール×1、取扱説明書(保証書付)(本書)×1、取付説明書×1	
共通仕様	ケ ー ス 材 質 PC/ABS樹脂(自己消火性)	共通
	PC/ABS樹脂(自己消火性)、ABS樹脂(自己消火性)	

☆ 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限、最低濃度を爆発下限といいます。

★ マイコンメーターと接続して使用する場合は、警報器アダプターが必要になります。



アフターサービスについて

- この警報器は、5年間の無償保証です。
この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で、警報器が正しく作動しないことが判明した場合には、無償でお取り替えいたします。
- 保証書に記載されている保証の適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。
- 保証書に取り付け年月および販売店名の記入のないものは、無効となることがあります。
お取り付け時にご確認ください。

- この警報器の有効期限は、お取り付け後5年間です。
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過した警報器は、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。

《お断わり》

有効期限は、保証書記載の年月よりも、警報器本体に貼ってある有効期限ラベルに記載の年月が優先されますので、有効期限ラベルの年月を確認してください。

- 保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店または最寄りの東邦ガス営業所までご連絡ください。
- 警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店または最寄りの東邦ガス営業所までご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。販売店または最寄りの東邦ガス営業所までご連絡ください。

- 引越しをされるときは、販売店または最寄りの東邦ガス営業所までご連絡ください。
- 他の地区に引越されたときは、最寄りのガス事業者にご連絡をとり、ガス種に適合していることを確認してください。

取付位置の確認

設置場所の選定については、お客様とよく相談して決めてください。

△ 注意

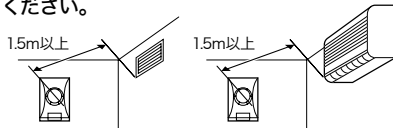
正しい取付位置に取り付けてください。
取り付けがはけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

《正しい取付場所について》

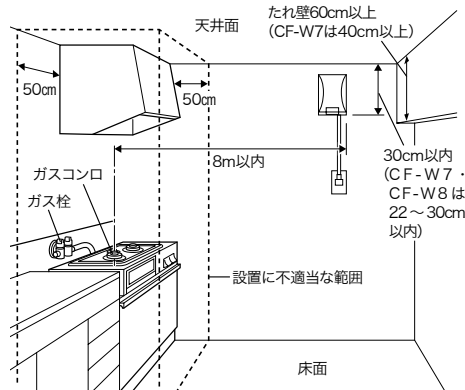
- ガスもれ、不完全燃焼を検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- もれたガスや不完全燃焼ガスが滞留しやすい位置で、緑(電源)ランプの確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けください。
- ガスもれ、不完全燃焼を検知しようとするガス機器(一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓)から、水平距離8m以内に付けてください。

CF-W7 CF-W8

- 換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。



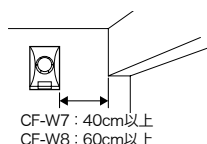
取付例



※警報器の取り付けや取付位置の移動は、最寄りの東邦ガス営業所におまかせください。

CF-W7 CF-W8

- たれ壁やはりから下図の数値以上離してください。

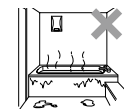


《取り付けはけない場所について》

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けな
いでください。

- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
- すき間風の入る場所。
- たれ壁(CA-W5) CF-W8は60cm以上、CF-W7は40cm以上で区切られている場所。
- エアコンなどの吹出口に近い場所。
警報が遅れたり、検知できないことがあります。
- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。
センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。
- ビルの給湯室など夜間電源を切る場所。
- 使用時でないと電源を入れない場所。
警報器としての機能を果たしません。
- カーテンウォールなどで仕切られた場所。
警報が遅れます。
- 振動、衝撃の激しい場所。
センサの故障の原因になります。

- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。
感電や電氣的故障の原因になります。

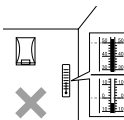


- 温度が下記数値範囲をこえる場所。

CA-W5 : 0 ~ 50°C

CF-W7 CF-W8 : 0 ~ 40°C

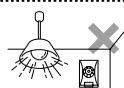
警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。



- 屋外。
屋外用ではありません。

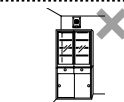
CF-W7

- 照明器具などから発生する熱の影響を受ける場所。



CF-W7

- 食器棚などの上部。



CF-W8

- 食器棚などから60cm以内の場所。



CF-W8

- 火災以外の煙や蒸気がかかる場所、車庫など。



空気より軽い12A、13Aガス用

取付説明書【施工される方へ】

お客様にこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、この取付説明書をよくお読みいただき、指定された工事を行ってください。

複合型都市ガス警報器 不完全燃焼警報機能付

品名 **CA-W5**

型式名 **XW-105G**

火災（煙式）・都市ガス警報器 不完全燃焼警報機能付

品名 **CF-W8**

型式名 **XW-105S**

火災（熱式）・ 都市ガス警報器 不完全燃焼警報機能付

品名 **CF-W7**

型式名 **XW-105GK**

1 お願いとご注意

- 警報器の取り付けは、この取付説明書に従って、指定された工事を行ってください。
- 工事終了後に、必ず作動点検を行ってください。万一、作動不良があったときは交換してください。外部装置と接続される場合は、外部装置の取扱説明書および設置工事説明書に基づいて作動点検を行ってください。
- 工事終了後に、「警報器の説明」「お客様への周知事項」について、必ずお客様に説明してください。

△ 注意

警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。故障や誤作動の原因となります。

2 取り付け前の確認

2-1 警報器の確認

取り付ける警報器が、空気より軽い12A・13Aガス用（CA-W5は不完全燃焼警報機能付、CF-W7・CF-W8は火災感知・不完全燃焼警報機能付）であり、本体に異常のないことを確認してください。

2-2 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

本体…1個	ピン 長さ20mm:10本
コード収納カバー…1個	木ネジ 長さ16mm:2本 長さ10mm:3本
取付板…1個	外部出力接続線…1本
	取扱説明書（保証書付）…1冊
	取付説明書【本書】…1部
	お問合せ先一覧チラシ…1枚
コード振れ止め…3個	リースシール…1枚

2-3 取付位置の確認

設置場所の選定については、お客様とよく相談して決めてください。

△ 注意

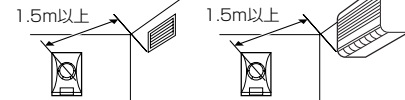
正しい取付位置に取り付けてください。
取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

正しい取付場所について

- ガスもれ、不完全燃焼を検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- もれたガスや不完全燃焼ガスが滞留しやすい位置で、緑（電源）ランプの確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ガスもれ、不完全燃焼を検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓）から、水平距離8m以内に取り付けてください。

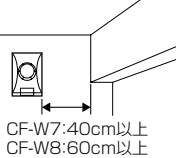
【CF-W7・CF-W8】

- 換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。

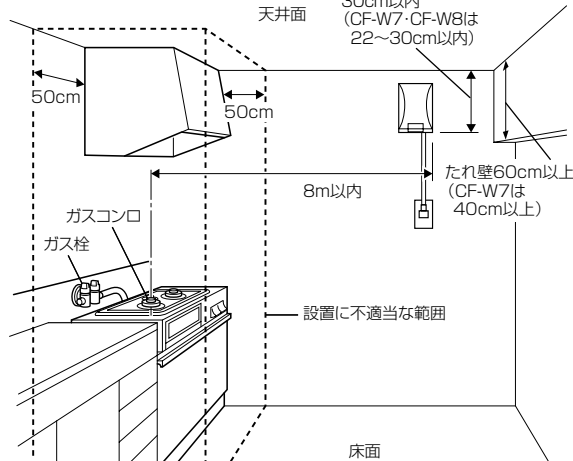


【CF-W7・CF-W8】

- たれ壁やよりから右図の数値以上離してください。



■取付例



※警報器の取り付けや取付位置の移動は、最寄りの東邦ガス営業所におまかせください。

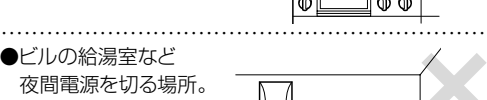
取り付けてはいけない場所について

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けしないでください。

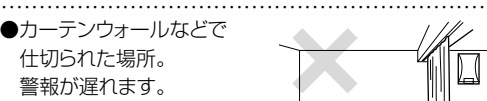
- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
- すき間風の入る場所。
- たれ壁（CA-W5・CF-W8は60cm以上、CF-W7は40cm以上）で区切られている場所。
- エアコンなどの吹出口に近い場所。
警報が遅れたり、検知できないことがあります。



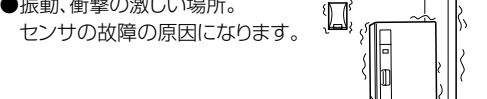
- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。
センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。



- ビルの給湯室など夜間電源を切る場所。
- 使用時でないと電源を入れない場所。
警報器としての機能を果たしません。



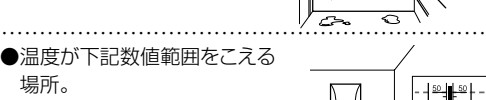
- カーテンウォールなどで仕切られた場所。
警報が遅れます。



- 振動、衝撃の激しい場所。
センサの故障の原因になります。



- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。
感電や電氣的故障の原因になります。

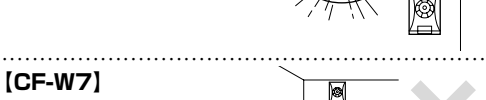


- 温度が下記数値範囲をこえる場所。
【CA-W5】:0～50℃
【CF-W7・CF-W8】:0～40℃
警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。

- 屋外。
屋外用ではありません。

【CF-W7】

- 照明器具などから発生する熱の影響を受ける場所。



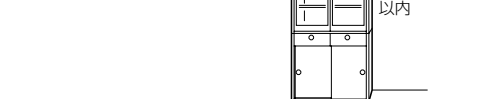
【CF-W7】

- 食器棚などの上部。



【CF-W8】

- 食器棚などから60cm以内の場所。



【CF-W8】

- 火災以外の煙や蒸気がかかる場所、車庫など。



3 取り付けかた

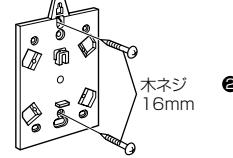
3-1 取付板の取り付け

△ 注意

取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けしないでください。
取付強度を保持するため、ピンは根元まで差し込んでください。万一、ピンがゆるんだ場合は、取付位置をずらしてピンを付け直してください。

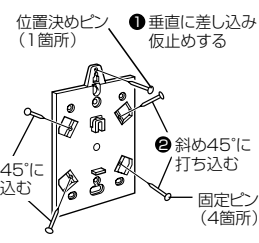
木質壁・コンクリート壁の場合

木ネジ（16mm）を図のようにねじ込み、取付板を固定する。
※コンクリート壁の場合は、市販のカールプラグを打ち込んで、木ネジを使用してください。



石膏ボード壁の場合

ピン（4本）を図のように打ち込んで、取付板を固定する。

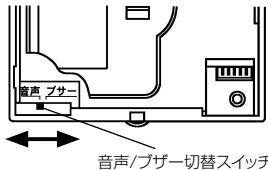


3-2 警報音の切り替え【CA-W5・CF-W7】

警報音の初期設定は、音声になっています。必要に応じて、ブザー設定に切り替えることができますので、お客様に確認してください。

切り替えかた

警報器背面の切替スイッチで、ブザー設定に切り替えます。
切り替えはシャープペンシル、ボールペン、ドライバーなどで行う。

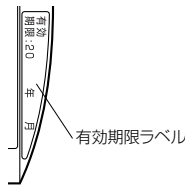


おながい

- 切替スイッチを切り替えるときは、無理に力を加えないでください。スイッチを破損する恐れがあります。
- 切替スイッチの切り替えは、必ず警報器の電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。

3-3 有効期限の記入

この警報器の有効期限は、取り付け後5年間です。
必ず、警報器本体に貼ってある「有効期限ラベル」に、有効期限の年月を記入してください。

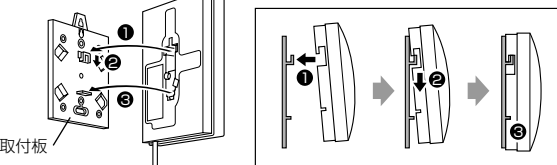
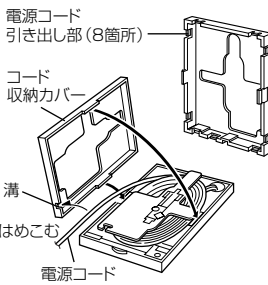


3-4 警報器本体の取り付け

△ 注意

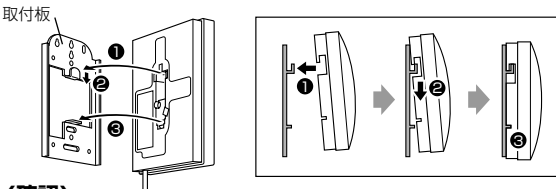
警報器の取付時に、警報器を落とさないように注意してください。
センサの断線など、正常に作動しない恐れがあります。
【CF-W7】
本体内にある熱感知部に触れないように作業してください。
センサの破壊など、正常に作動しない恐れがあります。

- ①電源コードを、コンセントまでの長さに合わせて取り出す。
- ②コード収納カバー側面の電源コード引き出し部（8箇所）から1箇所を選び、リブを取り除いて溝を作る。
- ③溝に電源コードをはめ込む。
- ④コード収納カバーを警報器本体に取り付ける。
- ⑤警報器本体を取付板に取り付ける。



既存の取付板に取り付ける場合

警報器本体を図のように取付板に取り付ける。

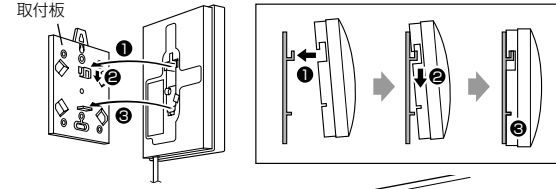


〈確認〉

取り付けた警報器にガタつきがないことを確認し、確実に固定されていることを確認してください。

取付板のフック部で取り付ける場合

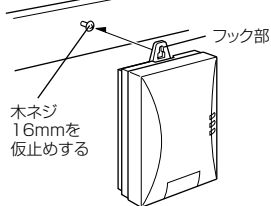
- ①取付板を警報器本体に取り付ける。



- ②木ネジ（16mm）を途中までねじ込み、仮止めする。

- ③仮止めした木ネジに、取付板のフック部を引っかける。

- ④木ネジを締め付け、取付板を固定する。

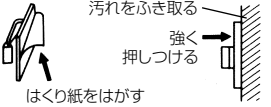


3-5 コード振れ止めの取り付け

△ 注意

電気設備技術基準および内部規定により、電源コードはステップルや釘などで固定しないでください。
電源コードに重いものを置かないでください。

- ①コード振れ止めのはくり紙をはがし、壁面に貼り付ける。

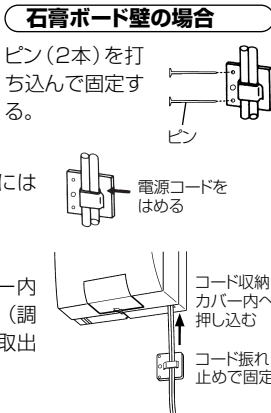


接着だけで取り付けできない場合

木ネジ（10mm）を使用する。

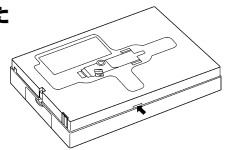
- ②電源コードをコード振れ止めにはめ込む。

- ③電源コードをコード収納カバー内へ押し込んで、長さを調整する。（調整できる長さは、電源コードの取出量で変わります。）



■コード収納カバーのはずしかた

コード収納カバー側面の溝を、指で押し込みながら引き上げてください。



3-6 外部装置への連動接続

△ 注意

外部装置の取扱説明書および設置工事説明書に基づいて、作動点検を行ってください。
ガスもれ、不完全燃焼警報出力は有電圧出力ですから、外部装置の極性に注意して接続してください。
火災警報出力は、火災相互連動専用です。

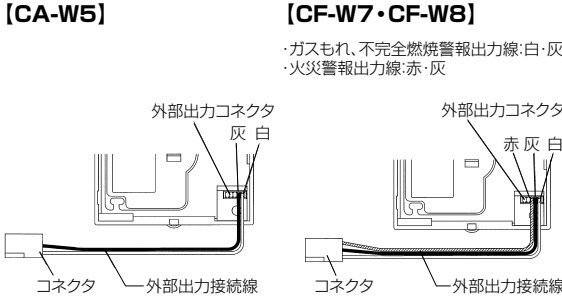
■外部装置との連動対応表

警報の種類 外部出力 信号	警報時の 動作	火災 連動出力	ガスもれ DC12V	不完全燃焼 DC18V	備考
	外部装置				
戸外ブザー	警報音が鳴る	×	○	○	ガスもれ、 CO警報用
マイコンメーター	ガスを止める	●	●	●	
住宅用情報盤	警報表示・ 警報音が鳴る	△	○	○	
業務用し断弁	ガスを止める	×	○	○	
集中監視盤	警報表示・ 警報音が鳴る	△	○	○	

※接続にはケーブルが別途必要です。
◆×:連動不可、○:連動可能、●:アダプターにより連動可能、△:東邦ガスに相談。
◆警報音が鳴ってから、各装置が作動するまでの遅延時間は、装置によって異なります。

外部装置との接続のしかた

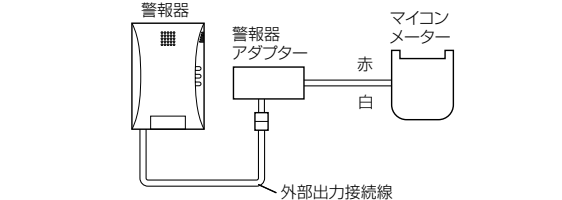
①付属の外部出力接続線を、警報器背面の外部出力コネクタに接続する。



②コード収納カバーの外部出力線引出部を切り取り、外部出力接続線を通す。
③コード収納カバーを警報器本体に取り付ける。

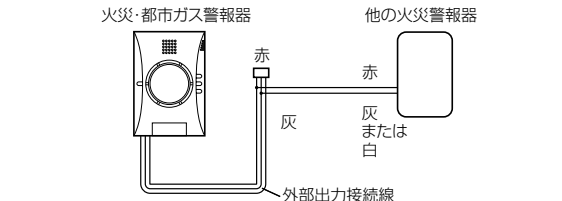
マイコンメーターとの連動方法

警報器アダプターにコネクタを接続する。



他の火災警報器との連動方法 [CF-W7・CF-W8]

他の警報器からの信号線とゴボン端子などで直接接続する。



4 取り付け後の点検

4-1 準備するもの

ガス警報器にスパイトマークがあることを確認してください。

- 点検ガス採取器 (別売品)
- テーブルコンロなど、炎からガスを採取できるもの

△ 注意

アルコールを主成分とした点検ガスおよびライター式の点検ガス (生ガス) は、使用しないください。
センサ異常またはセンサ故障の原因になったり、警報状態からの復帰にたいへん時間がかかることがあります。

4-2 初期動作の点検

おねがい

この警報器は作動点検をスムーズに行うため、監視状態に移行後3分30秒間 (電源プラグをコンセントに差し込んでから4分間) に限り、採取ガスに対して反応しやすい状態が保持されます。必ずその間に作動点検を行ってください。
上記時間を過ぎると、採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されます。その場合は電源プラグを一度抜き、再度コンセントに差し込み直してから行ってください。
また、上記時間内であっても一度作動点検を行うと採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されますので、ご注意ください。

電源プラグをコンセントに差し込む。
緑 (電源) ランプが点滅し、約30秒後に点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。
※赤 (ガスもれ警報) ランプが点滅することがありますが、しばらくすると消灯します。

4-3 ガスもれ警報機能と不完全燃焼警報機能の同時点検

①ガスライター、またはガスコンロを点火し、炎の高さを約4cmまたは5cmに調節する。

おねがい

炎が小さいとガスが採取しにくくなります。

②点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮して、採取管の先端を炎の外炎の中央部へ持っていく。
③容器の圧縮をゆっくり (約3秒程度) ゆるめ、炎の中からガス成分を吸引する。

おねがい

長時間加熱すると、ガス採取器が破損することがありますので注意してください。

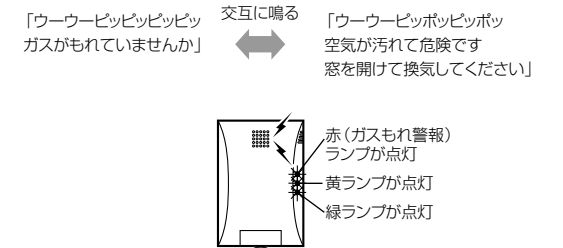
④点検ガスの採取が終わったら、速やかに点検ガス採取器を炎から離し、ガスライターまたはガスコンロの炎を消す。

△ 注意

炎から出した直後の採取管は、先端が非常に熱くなっています。絶対に触らないでください。やけどをする恐れがあります。

⑤採取管の先端部分の温度が下がるまで (約25秒程度) 待つ。
⑥採取管の先端部分を警報器の点検口にしっかり押し当てて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり (約3秒程度) 注入する。

⑦赤ランプと黄ランプが点灯し、ガスもれ警報 (「ウーウーピッピッピッ」 ガスがもれていませんか) と不完全燃焼警報 (「ウーウーピッポッピッポッ 空気がよごれて危険です 窓を開けて換気してください」) が交互に鳴ります。



※電源を入れてから25分以内は、点検モードになっているため、不完全燃焼警報はランプの点灯と同時に音声合成音が鳴ります。
⑧ガスがなくなると、赤 (ガスもれ警報) と黄 (不完全燃焼警報) ランプが消灯します。

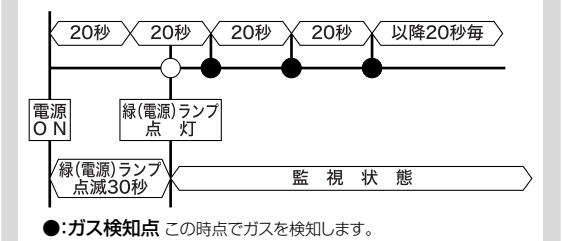
おねがい

採取したガスは、不完全燃焼警報機能の点検以外には使用しないでください。

お断わり

- 不完全燃焼ガスの検知は約20秒ごとになっています。ガス注入のタイミングがずれたり、注入したガスが薄まったときは、高濃度の警報にならないことがあります。
- 長時間、連続してガスを注入すると、警報音がなかなか鳴りやまないことがあります。
- 採取ガスの量、濃さ、成分などの違いにより、点検時の警報音の鳴り方が変わることがあります。

■不完全燃焼ガス検知タイミング



4-4 警報機能の点検

おねがい

この点検は、警報器本体の電源を入れて (電源プラグをコンセントに差し込んで) から約25分以内に行ってください。約25分以上経過しているときは、再度、電源を入れ直してください。

〈点検のしかた〉

①警報停止スイッチを約1秒間押すと「ピッ」と開始音が鳴ります。
②以下の作動点検をしてください。
※CA-W5は、2・3の作動。CF-W7・CF-W8は、1～3の作動。CF-W8は、音声警報のみです。

動作順	警報音		ランプ			
	音声設定	ブザー設定	緑	黄	赤 (ガスもれ警報)	赤 (火災警報)
1	「ウーウーカンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください」	「ウーウーカンカンカン」	点滅			点灯
2	「ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	「ウーウーピッピッピッピッ」	点滅		点灯	
3	「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	「ウーウーピッポッピッポッ」	点滅	点灯		

③「ピー」と終了音が鳴り、監視状態 (緑ランプ点灯) に戻ります。

おねがい

警報器本体の電源を入れて (電源プラグをコンセントに差し込んで) から約25分以上経過した場合は、「正常です」の音声とともに警報ランプがすべて点灯します。 (取扱説明書「定期点検」参照)

外部装置および他の火災警報器との連動点検

おねがい

この点検は、警報器本体の電源を入れて (電源プラグをコンセントに差し込んで) から約25分以内に行ってください。約25分以上経過しているときは、再度、電源を入れ直してください。

①警報停止スイッチを押すと「ピッ」と鳴り (緑ランプが点滅を開始)、そのまま3秒間押し続ける。
「ピッピッ」と開始音が鳴ります。同時に外部出力信号が1分間出力されます。 (有電圧は12Vと18Vが交互に出力されます。) CF-W7・CF-W8は、火災警報時の信号も出力します。

②以下の動作を行います。
※CA-W5は、2～4の作動。CF-W7・CF-W8は、1～4の作動。CF-W8は、音声警報のみです。

動作順	警報音		ランプ					
	音声設定	ブザー設定	緑	黄	赤 (ガスもれ警報)	赤 (火災警報)	火災連動出力	有電圧出力
1	「ウーウーカンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください」	「ウーウーカンカンカン」	点滅			点灯	ON	ON
2	「ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	「ウーウーピッピッピッピッ」	点滅		点灯		ON	ON
3	「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	「ウーウーピッポッピッポッ」	点滅	点灯			ON	ON
4	無音	無音	点滅	点灯	点灯	点灯	ON	ON

③動作4の状態が約1分間続いた後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態 (緑ランプ点灯) に戻ります。

〈1分以内に点検を終えたいとき〉

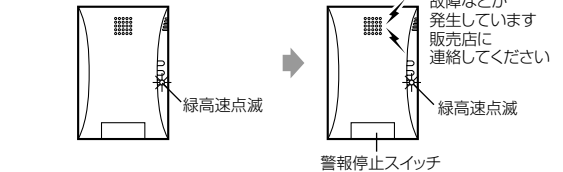
上記表の4の動作中に警報停止スイッチを約2秒間押すと、「ピー」と鳴り、終了します。

おねがい

警報器本体の電源を入れて (電源プラグをコンセントに差し込んで) から約25分以上経過した場合は、動作1のみの作動となります。 (取扱説明書「定期点検」参照) (ただし、有電圧12V、18Vは出力されません。)

機能に異常がある場合

緑 (電源) ランプが高速点滅し、ガスもれ、不完全燃焼警報外部出力が0Vとなり、お知らせします。
また、このときに警報停止スイッチを押すと、「故障などが発生しています 販売店に連絡してください。」が鳴ります。新しい警報器と交換してください。



熱による火災警報機能の点検

【CF-W7】

【準備するもの】

●ヘアドライヤー
※必要に応じて、延長コードも用意してください。

①ヘアドライヤーの吹出口を、警報器の熱感知部に垂直に当てる。
②ヘアドライヤーの電源スイッチを入れ、温風を吹きかける。

△ 注意

ヘアドライヤーを離れた直後の警報器は熱くなっています。絶対に触らないでください。やけどをする恐れがあります。
ライターなどの直火による加熱試験は、行わないでください。破損の原因となります。

③赤 (火災警報) ランプが点灯し、警報音「ウーウーカンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください*」が鳴ります。
*ブザー設定:ウーウーカンカンカン

④熱感知部周囲の温度が規定温度 (約65℃) 以下になると、赤 (火災警報) ランプが消灯します。

5 お客様への説明について

警報器の取り付け、点検が終わったら、必ずお客様に以下の説明を行い、ご理解を得てください。

5-1 警報器の説明

- ①警報動作および点検結果の説明。
- ②取扱説明書を必ず読んでいただくことをお願い。
- ③保証書および取扱説明書の保管のお願い。
- ④取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 - 1.火災警報の内容 (赤ランプ点灯、音声合成音の確認) と、警報時にとるべき処置の説明。 (CF-W7・CF-W8のみ)
 - 2.ガスもれ警報の内容 (赤ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認) と、警報時にとるべき処置の説明。
 - 3.不完全燃焼警報の内容 (黄ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認) と、警報時にとるべき処置の説明。
 - 4.ガスもれ警報、不完全燃焼警報の同時警報の内容 (赤ランプと黄ランプの点滅・点灯、音声合成音の確認) と、警報時にとるべき処置の説明。
 - 5.部屋の外にいて、ガスもれ警報、不完全燃焼警報に気づいたときにとるべき処置の説明。
 - 6.誤報が発生する原因と処置の説明。
 - 7.警報停止スイッチの説明。
- 機器故障音声機能 ●有効期限切れ音声機能

5-2 お客様への周知事項

- ①保証期間5年。
- ②警報器の有効期限のお知らせ。 (本体に貼付の有効期限ラベルに表示)
- ③保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- ④警報器の移設禁止。 (移設依頼時の連絡先)
- ⑤警報器の分解禁止。
- ⑥引越時の処置。
- ⑦故障・異常時の連絡先。

■別売部品

部品名	型式名	機能
警報器アダプター	OC-4M	マイコンメーターと接続する場合に使用。 (有電圧出力信号を受けて、フォトランジスタオープンコレクタ出力を出す)
戸外ブザー	EB-8	離れた場所に警報を出したい場合に使用。 (有電圧出力信号を受けて、ブザー断続音とランプ点滅で知らせる)
取付セット	OU-71	警報器を取り付ける場合に使用。 (取付板:1、ホネ径φ3.1×10:5、コード振れ止め:3)